

させほ夢大学

発行●公益社団法人 させほ夢大学
編集委員会
事務局 / 〒857-0863
長崎県佐世保市三浦町4-30・松蔵ビル3F
TEL.0956-25-9555 FAX.0956-25-9545
http://www.yumedai.com/
E-mail:sasebo_yumedai@yahoo.co.jp

開催ご案内 25-9556

夢のつづき

させほ夢大学会報

No.270 (2018・6)

平成30年度
第3回

2018年 **6月21日(木)**

アルカスSASEBO 大ホール

●開 場 午後5:30
●夢のひろば 午後6:00
●講 演 午後6:30

今回は元女子陸上長距離選手で、現在はスポーツジャーナリスト、大阪芸術大学教養課程教授、駅伝・マラソン解説、ナレーターなどで活躍中の増田明美さんをお迎えします。

増田さんは軟式テニス部で活躍されていた中学2年生の冬、町内一周駅伝大会に参加し優勝したことをきっかけに、私立成田高校の瀧田詔生監督にスカウトされ、陸上競技を始められました。

成田高校在学中には、長距離種目で次々に日本記録を樹立されました。

貧血に悩まされながらも、走って自分が幸せだと思えるマラソン



の楽しさを感じながら1992年に引退するまで数々の記録を残されています。

引退後はスポーツライターに転身し、新聞や雑誌に寄稿したり、陸上競技、ロードレースの解説を中心に各方面でご活躍中です。

又、聞き易い声やわかり易い解説には定評があり、声だけのテレビCM出演やNHK「ひよっこ」では、ナレーションも務められています。

「人生はマラソンのようなものだ」とよく言われますが、たくさんの経験を積んでこられたマラソンランナー 増田さんのお話、あの優しい話し声、楽しみです。

講師 ● ますだ あけみ スポーツジャーナリスト 大阪芸術大学教授 **増田 明美氏**

テーマ・自分という人生の長距離ランナー



次回のご案内

- と き / 7月19日(木)
- 講 師 / 貴乃花部屋 女将 はなだ けいこ **花田 景子氏**
- テーマ / 人を育てる、支える

●宮崎市出身。上智大学外国語学部フランス語科卒業、元フジテレビアナウンサー。3児の母。夫は第65代横綱「貴乃花」、現・貴乃花親方。女将業の傍ら、講演活動や司会、商品プロデュースなど多方面で活動中。「河野景子のことばのアカデミー」校長。「シコアサロン」主宰。日本ペンクラブ会員。みやざき大使。著書に「日本人の心 おもてなし」「ピンチも料理で救われます」等あり。

増田明美 氏のプロフィール

●1964年千葉県出身。成田高校在学中、長距離種目で次々に日本記録を樹立する。1984年ロス五輪出場。92年に引退するまでの13年間に日本最高記録12回、世界最高記録2回更新という記録を残す。2001年から10年間文部科学省中央教育審議会委員を務める。全国高等学校体育連盟理事、日本陸上競技連盟評議員、日本障がい者スポーツ協会評議員。





栗林 慧氏



栗林氏の講演を聞くのは今回で二度目です。前回は、当時小学生だった娘と一緒にきました。その時も親子して感動した思い出があります(その娘も今は一児の母です)。

昆虫の生体を、レンズを通してリアルで面白く色々な視点から映像を交えて伝えて下さり、映像が出る度に「ワァーッ!」と会場のどよめき。童心に戻って楽しみました。

現在、学童支援員として携わっている私です。子供達は、昆虫が大好きで、昆虫と向き合っ

童心に戻って ワクワク!
東彼杵郡川棚町 福田 慶子

ている時の子供達は輝いています。その輝きをお持ちの栗林氏。私も講演を聞きながら、昆虫の世界に魅了され、メモを取りながら子供達に伝えられる事が山盛りだと感じました。

又、子供達に人気がある「カブト虫」。特にカブト虫の王様と「ト」に関して、滅多に撮れないという事で大変な苦労をされたお話し。

これからも、栗林氏が編み出されたレンズを通して、生物生態の面白さ、力強さや優しさを感動と共に伝えて頂ける事を楽しみにしています。

以前の講演で栗林氏の昆虫の

昆虫さんと眺めっこ
佐世保市輪岡町 村井 政人

トランペットとピアノによるデュオは、心地良く聞き入っていると何となく昭和の佐世保の街風景が蘇ってきました。

私も趣味で長年一眼レフカメラを愛用してきて主に風景写真を撮っています。未だに人に感動を与えるような作品は撮れていません。栗林氏の写真を模倣しようと思っても、市販のマクロレンズや接写リング等を使用しても全然撮れるも

クリビジョンは素晴らしい。光景でした。

あの話も先生と同じ経験があります。昔、豊前の山国川で黄昏時から蛍を待っていたら、間もなくひとつ、ふたつと蛍火が瞬きだし、あたりが真っ暗になったときは、何千匹の蛍火が夏の聖樹のように輝き、この世のものとは思えぬほど素晴らしい光景でした。

三行感想文
夢のとびら

■観察力のすごさに感心しました。毎日の生活の中にゆっくりとしたこんな時間も必要だなと思った。肉眼では見られない素晴らしい状況を見せていただき、ありがとうございました。
佐世保市日宇町●陶山 美佐子

■夢のひろばで、聴き慣れた曲をトランペットの演奏で聴き、楽器がひけることは、素晴らしいなと思いました。
佐世保市大宮町●田中 美祐

■栗林氏の素晴らしい写真をワクワクしながら見て、子供と一緒に虫をみていた時を思い出し、あたたかい気持ちになった。
佐世保市下本山町●山口 八重子

■動物、虫が苦手な私です。昆虫写真家の栗林さんの講演で、虫に対する見方が変わればと楽しみにしていました。写真を通して、昆虫の生態もわかり、色々勉強になりました。スクリーンに昆虫の色がきれいで動きが可愛く、これからは好意をもって観察してみようと思いました。
佐世保市松山町●本山 早苗

■近所の同世代の子らと野山を駆け巡り、池でイモリやザリガニ等を、田んぼでメダカやドジョウを捕っていた頃が懐かしい。80歳で「変化に富んだ昆虫を相手にしているワクワク感と喜び」を楽しそうに語られ、昆虫青年を自認なさる栗林さんが羨ましい。
佐世保市早苗町●牧 千尋

■皆さんの中には虫が嫌いな方もいらっしゃるでしょうが…。「ウン、ウン!」でも、スクリーンに映し出される虫たちは何と可愛い表情をしているのでしょうか。まるで小さい子供たちが、首をかしげるようなカマキリさん、一生懸命な姿、里山にいるという昆虫たち、今夏は探しに行きましょうか。
佐世保市赤崎町●木村 典子

■虫の世界も低い目線で見れば、大きな怪獣に見えておもしろいですね。向かい合った虫さん達は、挨拶しているように見えて笑えました。栗林さんにかかれば虫たちも素敵に見えます。私は虫が好きです。今夜、蛍が飛んでいました。
佐世保市木風町●西 照美

■大学と名がつくことから、大学生らしいマナーを学ぶ場所にしませんか。携帯電話のことはいつも問題になりますが、足をひろげて横の人に迷惑をかけている方、香水を強く匂わせている方、遠慮のないセキ、グシャミ、場所取りも堂々とされていますよね。年を重ねてくると注意をされることが無くなります。姿勢を気にするとか、会場では香りを抑えるとか、ホールは音響がいいので物音を控えるとか、待ち合わせは口ビーですとか、考えてみませんが、俯瞰で自分を見てみませんか。(他人のことを言えるほどの人間ではありませんが…)
佐世保市●匿名希望

里山物語

佐世保市黒髪町 山口 勝

素晴らしい映像と先生のお話を伺いながら、はるか昔、柚木軽便鉄道に乗って生物部の先輩と生まれてはじめて国見岳に蝶々採集に出掛け、一日夢中になってアゲハ蝶やタテハ蝶を追いかけたことを思い出しました。戦後間もない頃で、中学生の私には他に何もすることはなかった。たしか月刊「少年の科学」がありました。活字に飢えていたので、むさぼるように読んで記憶があります。

あの話も先生と同じ経験があります。昔、豊前の山国川で黄昏時から蛍を待っていたら、間もなくひとつ、ふたつと蛍火が瞬きだし、あたりが真っ暗になったときは、何千匹の蛍火が夏の聖樹のように輝き、この世のものとは思えぬほど素晴らしい光景でした。

クリビジョンは素晴らしい。

夢のひろば

- ◆日時／6月21日(木) 午後6時～6時20分
- ◆演目／『夢』と『歌』の弾き語り
- ◆出演／村島佳佑 (歌、ギター)
- ◆出演者紹介

長崎県佐世保市出身。長崎県立佐世保西高等学校を卒業後、大分大学へ進学。学業の傍ら、シンガーソングライターとしての活動を開始。卒業後に上京し、約7年間の活動を経て、2018年より活動拠点を地元佐世保へと移す。作詞・作曲を手掛けた楽曲は180曲を超え、これまでに3作のCDをリリースし、精力的に創作活動に励んでいる。2020年にアルカスSASEBO大ホールでのコンサート開催を、今後の目標の一つとしている。

また、歌うことを通して地域社会に貢献すべく、佐世保市内の福祉施設、教育施設、公民館などでの活動も行っている。自身の歌を通して、地元佐世保をはじめ、日本全国の人々に『感動』を届けるべく、今日も歌を歌う。

※2018年8月4日(土) 午後1時～3時 アルカスSASEBO イベントホールにてコンサート開催

◆曲目

1. 見上げてごらん夜の星を (坂本 九)
2. メロディー (玉置 浩二)
3. 足跡 (村島 佳佑)

里山は人間と 虫たちが創った共同体

クリビジョンで捉えた昆虫たちの写真が、栗林氏の解説と共にスクリーンに次々と映し出され、肉眼では見ることに出来ない生き生きとしたその生態に、

秘められた潜在能力

佐世保市梅田町 森 洋子

会場から嘆声があふれていた。まさか胃カメラが、虫の目になるなんて…。
里山は人間と虫たちが創った共同体だと説かれた先生のお言葉はまさに至言です。私たちのまわりに素晴らしい自然があることを、これからは心がけたいと思います。
二階から傾聴したので、先生のお顔がよく判らなかつたが、NHKでそのうち観られるでしょう。
虫の目で小さないのち撮る人ぞ

私はほとんど引き込まれた。アリの目とはよく言ったもので、自分が昆虫の世界の住人になった気分だ。ペランダに佇むカマキリはまるで砂浜でポーズをとるグラビアアイドル。
栗林氏は、昆虫の中でも一つの社会を持つアリが一番好きだと言われた。女王アリが卵を愛おしそうに扱っている姿に、大きな母性を感じられるようだ。
日本人はかつて働きアリに例えられていた。女王アリの代わりに社長に仕え、子孫のために懸命に働く姿がそうみえていたのかもしれない。しかし、今や子供を産み育てることにプレッシャーがかかってしまう原因のひとつとして、働きアリの「在り方」が問題になっている時代なのである。ミイデラゴミムシの高温毒ガス噴射システムについて知っていれば、NASAがもつ



藤澤明日菜さんのトランペット演奏 (ピアノ：大串秩加さん)

と早くにロケットを飛ばすことが出来ていたかもしれないと、NASAの博士もお墨付きの昆虫の能力。太古の時代から環境破壊が懸念される現在まで、絶滅することなく地球上に存在し続けている。小さい命に秘められた潜在能力から、もつと学べる事が沢山あるのでは？栗林氏には、まだまだ秘めたる昆虫の能力をひもといて欲しいと思った。



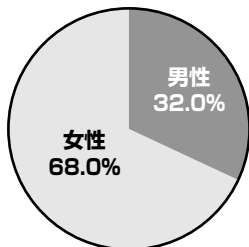
撮影秘話が面白い！ 栗林慧さん

講演を聴かれた感想をお待ちしています！

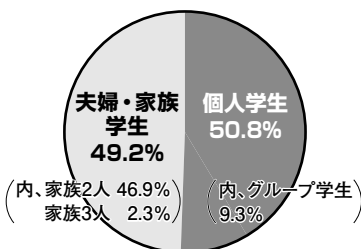
※締め切りは講演日の1週間後(必着)
※宛先は、させば夢大学事務局まで

平成30年度 第27期 させば夢大学 受講生プロフィール

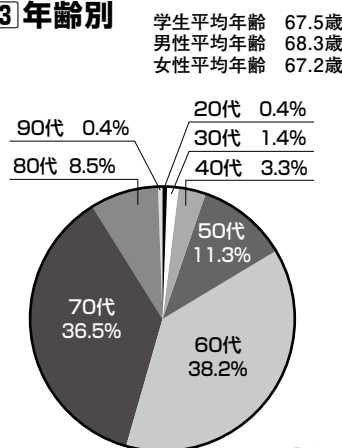
①男女比



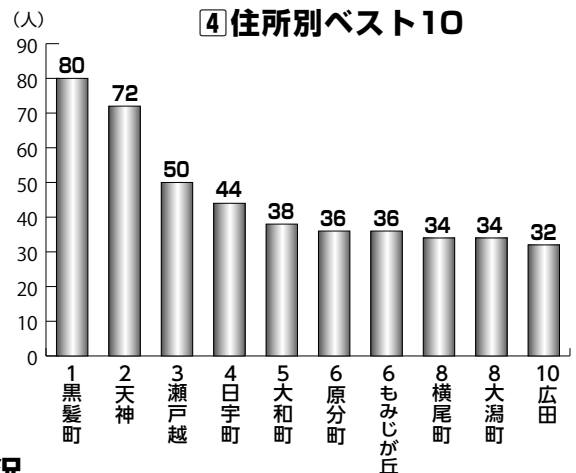
②会員比



③年齢別



④住所別ベスト10



⑤市外状況

- ・川棚町 70人
- ・佐々町 62人
- ・西海市 49人
- ・波佐見町 32人
- ・平戸市 16人
- ・松浦市 14人
- ・東彼杵町 8人
- ・長崎市 1人
- ・諫早市 1人
- ・大村市 1人
- ・有田町 27人
- ・伊万里市 5人
- ・武雄市 3人
- ・太良町 1人
- ・嬉野市 1人
- ・北九州市 1人



福井谷史跡トライアングル

吉井エコツーリズムガイド
和田 隆

ウ、ヤギユウ、オオツノシカなどの大型哺乳類であった。

ヒトは狩猟のため常に移動生活を余儀なくされ、洞窟に定住することはなかった。

それが一万五千年ほど前から気温はしだいに上昇して現在の「間氷期」に移行し、土器が出現して旧石器時代から縄文時代へと移る。植生もしだいに現在のようになり、動物も中型の哺乳類が中心となって、ヒトの食料として得やすくなり、果実類の採取と狩猟でしだいに洞窟の利用頻度が上がり、定住化へと近づくようになった。

洞窟遺跡の数日本一（三十一カ所）の佐世保市のなかでも、この福井洞窟と直谷岩陰遺跡の二つは、

日本列島にヒトが住み着きだしたところからのものと考えられる。

換言すれば、日本の歴史の始まりと、合併後の佐世保市の歴史の始まりは、同じ頃ということになる。

また、この二つの遺跡が存在するそれぞれの神社は、中世の山城「直谷城」を中心とする、ある共通点がある。

福井洞窟のある福井稲荷神社は直谷城の北東にあり、陰陽道にいう「鬼門」となる。さらに直谷岩陰遺跡のある熊野神社は南東にあり、直谷城の「裏鬼門」にある。

つまり、福井洞窟と直谷岩陰遺跡のあるそれぞれの神社は、「直谷城の鬼門封じ」のために建立されたものであることがわかる。

福井川の悠久の浸食によってできたこの「福井谷」の一キロほどの中に、貴重な文化財である福井洞窟と直谷城跡、そして直谷岩陰遺跡がある。

この「福井谷トライアングル」は、奇しくも佐世保市を代表する二つの洞窟遺跡と中世山城跡で構成されている。



【出典】直谷稲荷神社岩陰、佐世保市
CCライセンス (<http://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>)

事務局だより

★栗林慧さん、ありがとう
ございました

館内に響き渡るトランペットとピアノ演奏に続いて登場された、世界的な昆虫写真家の栗林さん。

長年にわたってご自身で研究開発された複数の特殊カメラを駆使して、昆虫の目線で撮影された59枚のスクリーン写真は圧巻でした。3センチの至近距離から撮られた昆虫たちの表情豊かで躍動感溢れる姿からは、自然環境の中で生きる彼等への栗林さんの深く温かいまなざしが感じられました。

栗林さんの優しさ溢れる写真の数々に、館内からは「ほお〜！」という感嘆の声や笑い声が何度もあがっていました。

★館内の空調について

アルカスSASEBO大ホール内の空調は、部分的な調整ができません。できる限りの対応をしていますが、フロア及び座席の位置によってはかなりの温度差があります。十分な準備をされた上でご出席ください。

★階段について

講演終了後、階段ご利用の際は足元にお気をつけください。特に外階段は照明が十分でなく、夜間は段差の白線が見えにくくなっています。前の方との間合いをとってゆっくりとお降りください。

★マナーについて

残念ながら前回の講演会で、舞台のスクリーン写真を撮影している方がおられました。著作権に関わり、問題です。させば夢大学の品位ある会員として、カメラ・携帯電話・スマートフォン・タブレット等の各種電子機器は、必ず電源をお切りください。

★感想文のお礼と詫言

いつも沢山の感想文をお寄せ頂きありがとうございます。スペースの関係で掲載できなかった方々にはお詫言致します。

★9月1日(土) 辛坊治郎氏の講演会「時間変更」について

標記講演会時間について講師の都合により、通常月と同様に午後6時30分〜午後8時へ変更になりました。お間違えのないように、よろしくお願致します。